

第3回傷害予防教育セミナー（第1報）

わが国では、1960年以降、0歳を除いた小児の死因の第1位は「不慮の事故」となっています。最近では、事故死が死因の第2位になっている年齢層もありますが、子どもの健康問題として「不慮の事故」が大きな位置を占めていることは変わりありません。

事故による傷害の予防は重要な保健活動のひとつですが、現時点では、「気をつけましょう」「目を離さないで」と言われているだけで、その評価はまったく行われていません。現実には、十分に気をつけていても事故は起こり、目を離さなくても、見ている目の前で起こるのが子どもの事故です。注意喚起だけでは、予防にはつながりません。WHO（世界保健機関）も、「見守り」「心構え」では子どもの傷害は予防できないと明言しています。外因による子どもの健康被害を予防するためには、科学的なアプローチが不可欠です。

本会では、科学的に評価できる方法で、事故による傷害を予防するための方法論、また実際に使用できるツールを紹介するセミナーを開催しております。本年も、学術集会の開催に合わせて開催いたしますので、ぜひご参加ください。

公益社団法人 日本小児保健協会 会長 岡田知雄
同 傷害予防教育検討会 委員長 山中龍宏

日時：平成27年6月18日（木）14：00～16：30（日本小児保健協会第62回学術集会開催時）

会場：長崎新聞文化ホール3階 真珠の間

〒852-8104 長崎県長崎市茂里町3-1 TEL：095-844-2412

受講料：1,000円（税込）※受講料は当日ご持参ください。

定員：30名 ※先着順・定員に達し次第締め切らせていただきます。

《プログラム》

1. 子どもの傷害の実態と傷害予防の考え方
2. 傷害の情報収集の実際
3. 製品や環境改善へのアプローチ
4. 意識・行動変容へのアプローチ
5. 調査、研究方法の実際
6. 子どもの安全チェックツールの紹介
7. 傷害予防ワークショップ

【申込方法】

別紙「参加申込書」（ホームページにフォーマット掲載あり）にご記入の上、FAXまたはE-mailにて日本小児保健協会事務局にお申込みください。E-mailでお申込みの方は、件名を「第3回傷害予防教育セミナー申込み」としてください。手続き終了後、事務局より「受付通知書」をお送りいたします。

日本小児保健協会事務局

TEL：03-3868-3093 FAX：03-3868-3092 E-mail：jsch-soc@umin.ac.jp

URL：<http://www.jschild.or.jp/>

申込日：平成27年 月 日

日本小児保健協会事務局 宛
(FAX送信先：03-3868-3092)

第3回 傷害予防教育セミナー参加申込書

フリガナ

①氏名： _____

②職種：保健師・助産師・看護師・医師・その他（ _____ ）

勤務先 _____

部署 _____

③連絡先： 勤務先 ・ 自宅 ※必ずチェックを入れてください。

〒 _____

住所 _____

TEL _____

FAX _____

※FAXでお申し込みの方には、
参加証等はこの連絡先に送信します。

④会員登録： 会員（会員番号： _____ ） ・ 非会員

※不明の場合は未記入でかまいません。

【申込方法】

FAXまたはE-mailにて、日本小児保健協会事務局にお申込みください。E-mailでお申込みの方は、件名を「第3回傷害予防教育セミナー申込み」としてください。手続き終了後、事務局より「受付通知書」をお送りいたします。

公益社団法人 日本小児保健協会事務局

FAX:03-3868-3092

E-mail: jsch-soc@umin.ac.jp

URL: <http://www.jschild.or.jp/>